

ホームページ <http://www.hakumon-butsuri.com/>

発行所 中央大学白門物理会
連絡所 〒112-8551
東京都文京区春日 1-13-27
中央大学 理工学部
物理学科準備室
発行人 杉本 秀彦
編集人 斉藤 守夫
電話 03-3817-1767
FAX 03-3817-1792
e-mail hakumon@phys.chuo-u.ac.jp

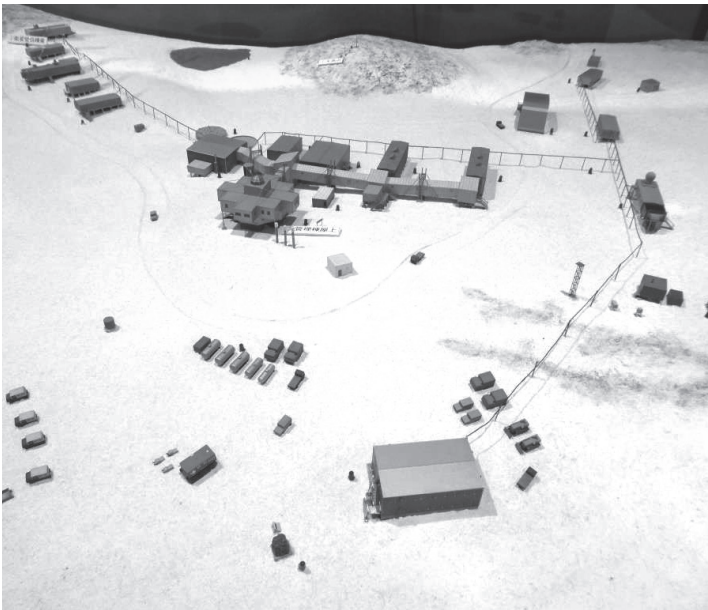
中央大学校歌

作詞 石川道雄
作曲 坂本良隆
編曲 三木 稔

一 草のみどりに風薫る
丘に目映き白門を
慕い集える若人が
真理の道にはげみつ
栄えある歴史を承け伝
う
ああ中央 われらが中央
中央の名よ光あれ

二 よしや嵐は荒ぶとも
揺るがぬ意気ぞいや昂
く
春の驕奢の花ならで
みのりの秋やめざすら
む
学びの園こそ豊かなれ
ああ中央 われらが中央
中央の名よ誉あれ

三 いざ起て友よ時は今
新しき世のあさばらけ
胸に血潮の高鳴りや
湧く歌声も晴れやかに
自由の天地ぞ展げゆく
ああ中央 われらが中央
中央の名よ栄あれ



60棟を超える建物で構成される昭和基地

科学探訪

南極・北極科学館にみる科学の進歩

国立極地研を訪ねて

東京・立川市の元飛行場跡地に広がる学術ゾーン、周囲には自治体大学、国立国語研究所などの公共の施設が連なる。ちよつと洒落た建物に極地―南極と北極―をテーマにした博物館が鎮座する。2010年開館の国立極地研究所が運営する「博物館」である。極地研はもととは国立科学博物館に生まれた「極地学課」を起源とし、館はその名のとおり一般に開放された施設で、今回訪ねた土曜日も大賑わい。入り口には5億年前の蜂の巣岩（黒雲母片麻岩）が迎え、反対側にはかつて南極観測で活躍したカラフト犬15頭がわれわれを出迎えてくれる。館内ですまず目をひくのは

南極の大きな立体地図。日本の37倍の面積をもつ大陸は意外に起伏があることを知った。最高峰は4.9キロ。人類が当初はその存在を知らなかった南極に初めて入ったのは1911年。アムンゼン、スコット、白瀬蘆などの努力により探検から観測（学術調査）へ指向が移り、「南極から地球を調べよう」をテーマに60年前国際地球観測年から、日本が第一次南極観測隊を派遣した1956年につな

車も目にうかぶ（車4台11人）。それから60年、組織、規模も大きくなり観測が継続、今年も第60次の観測隊が2代目「しらせ」で11月中旬に東京港を出港する。「南極条約」のルールの下に各国の越冬観測の基地は今47基地を数える。展示室は広い。大きく目をひくのは大型雪上車604号、この車は南極点まで往復5、200キロを走った。そして諸器材―氷床深層ドリルなど、動物氷と日常の生活と一歩異なつた世界へ足を踏み入れよう。動物関係の展示も豊富でペンギン、アザラシなど身近でみることが出来る実物（剥製）のほか「ペンギンの卵」を初めて見る

ことができた。両極で氷にも相違があり、「押し固められた」南極の水を実際に手で触れることできるコーナーがあり南極の水は生きていて中で音がすることを知った。数万年前の空気が閉じ込められているとのこと。ちなみに南極全体の氷は25,000兆トンという。もしこれが全部溶けると海面が60メートルも上昇すると聞く。

岩石や隕石も大陸の成りたちやその環境変動の歴史をあかしてくる。隕石は第10次隊（69年）により初めて採取された。オーロラの不思議もこの展示、映像でよく理解ができ、その色、形、動きなどが巨大なシアターで見ることが出来る。宇宙に最も近い南極のオーロラ映像は迫力満点である。

この博物館では季節にあわせた催しものも多く開かれていて。ことし8月には極地研探検―探検ツアー、ライブトーク（南極観測隊員と話す）、サイエンスカフェなど、またペンギンについての企画展が催された。探検ツアーでは普段は公開していない低温室や分析施設などを見学できる。この博物館の一角は60年間にわたって継続される南極観測の「日本側」の基地である。「南極観測センター」として極地研究の拠点であり、観測隊資材の管理基地ともなっている。倉庫には無数のコンテナがおかれ、発電用燃料を含めると毎年約1,300トンの物資の調達、梱包を約4ヶ月間で行っているのだ。

最新のニュースでは7月30日の新聞によるとインドと協力して「月の南極」へ無人機を、水発見に各国がしのぎ、とあった。惑星の極地はどうなっているのだろうか。今後は世界の環境の変化、温暖化そして科学技術の進歩によって大きく変わってゆくことであろう。温暖化は南極より北極がはげしいという。気温上昇や海水の縮小が進む。グリーンランド、アラスカ、ロシアなどの各地でも急速に氷が溶け進んでいく。海が主体である北極では海上での冬季観測が難しく、データが不足しているという。

「南極天文学」の領域もでてきた。ハワイや砂漠などの地球上の僻地が天体観測に適していることは知られている。同じ理由で高精度の天文観測にとって南極は理想的な場所と考えられる。水蒸気量が低く、高い周波数の電波の観測が可能であることなどで極地観測の新しい方向がみえてくることだろう。



南極点までを往復した大型雪上車

余白

東京都千代田区に日比谷公園があります。土地の一部が国有地ですが、公園は東京都建設局が所管し、東京都公園協会が管理しています。

この公園は皇居のすぐ外に位置しており、江戸時代には大藩の上屋敷が置かれていた場所です。明治になつて大名屋敷が廃藩置県で廃棄され、更地になりました。元々入江だったこの土地は地盤が悪く高層の建物の建設には不向きでした。そのため、初めは陸軍の練兵場として利用されましたが、やがて公園になりました。

日比谷公園の開園は明治三六年（1903年）です。開園後、公園内で多くの事件やイベントの開催がありました。戦争祝賀会や国葬の会場として使用されます。民衆による社会運動の拠点にもなりました。関東大震災では、被災民の仮設住宅が建てられたとい

ます。百年を超える歴史の中で公園内の施設は、開園後も新設されたり老朽化で壊されたりと、時代とともに変わってきました。現在は大噴水、公会堂、野外音楽堂、図書館、テニスコートなどがありますが、少し異彩を放つのは鐘塔です。

鐘塔の鐘は「自由の鐘」と呼ばれています。「自由の鐘」という名称は、米国の独立宣言の際に自由の喜びを告げた歴史的な鐘を指しています。この鐘はすべ

ての国とその住民に自由を告げる象徴と米国では考えられています。このような鐘が日本の公園に設置された事情は次の通りです。終戦後に米国の民間有志が「自由の鐘」の複製を連合軍総司令官に託したのが始まりです。託された司令官は自由の擁護者たる新聞を通じて日本国民に贈ることが最も寄付の趣旨にそ

うものと考えて、日本新聞協会に寄贈しました。日本新聞協会は日比谷公園に鐘塔を建設して、贈られた鐘を設置しました。昭和二十七年（1952年）のことです。この設置から歳月が流れ、鐘の修復が必要となりました。この時、立ち上がったのが、中央大学の卒業生有志（辞達学会の皆さん）です。修復募金委員会を立ち上げ、千円募金を呼びかける等の努力によつて修復が実現します。平成二十三年十月に修復完成式典を挙行します。こうして美しい鐘の音を取り戻すことができました。

この修復から十年の歳月が過ぎました。「自由の鐘」はまだ美しい音を奏でることがのできるのでしょうか。自由の擁護者であるべき新聞、テレビ等のマスメディアは偏見や憎しみを増幅する記事や番組を配信しています。自由を制約する出来事は世界各地で起こっています。中国やロシアだけではなく、米

（清水 正）

第21回白門物理総会

第41期 菅原泰晴

2018年11月10日、第21回白門物理総会が後楽園キャンパス6号館で開催されました。総会には32名が出席し、11期植田さんが司会、5期宮内さんが議長となつて進められ、滞りなく議事が進められました。

総会後に行われる講演会では、国立天文台の相馬充先生に「キトラ古墳天文図はいつ、どこで観測された星空か」というタイトルで講演いただきました。

その講演内容をご紹介します。1983年に発見された直径14mもあるキトラ古墳天文図は、西暦700年前後に描かれたそうです。2004年に壁画のフォトマップ撮影を行ない、2004年から2010年にかけて保存のための取り外し作業が行われました。2015年に飛鳥資料館が40周年の節目にあたることから、2014年に文化庁から「キトラ古墳天文図がいつ、どこで観測された星空か」の調査を相馬さんのグループが依頼されたそうです。調査の結果、天文図は、大まかに4つの大きな円、350以上の星、74以上の星座を示す線が描かれていることがわかりました（1/5ほどは剥けてしまつていたそうです）。天文図の中心は天の北極となつており、4つの円は、天の赤道、黄道（位置が間違っているそうです）、内規（いつでも見える星の範囲）、外規（1年で見える範囲）を表していました。また、星は直径6mmの点で示されており、3つだけ9mmの点があったそうです（天狼（シリウス）、南うお座の一等星（フォールハウト）、もう一つは不明）。

まず、「いつ」の星空だったかを知るために、天の赤道を通る星の位置のズレで年代を推定しようとした。当初は、図中の星団の一部が拡大されていたり、正体不明の星（客星（激変星、新星、超新星）の可能性がある）があったりと調査は難航したそうです。それを解決するため、相馬さんらは中国の星座（二十八宿）を用いたそうです（二十八宿には距星と呼ばれる基準があり、この星を使うことで星座中の他の星を相対的に置くことができるそうです）。ある程度信用できる11星を使用して年代推定した結果、「西暦300±90年」の星空であることがわかりました。さらに、「どこ」で観測された星空かを知るため、内規の円に接している星から観測位置（緯度）を求めました。その結果、「北緯33.9±0.7度」と判明したそうです。この情報に加え、日本の天文観測が7世紀に始まったことを考えると、キトラ古墳天文図は、中国の長安や洛陽で観測された可能性が高いそうです。



講演をされる相馬充先生

約1700年前に中国で観測された天文図を輸入し、日本の職人が壁画に描いたという壮大な歴史を知ることができ、非常に感慨深い講演でした。講演後の懇親会では、講演していた相馬先生の周りに人が集まり、ご歓談しつつ、みなさん様々な質問をなさっていました。物理学科らしく食欲な姿勢で知識を得る姿は、やっぱりいいものだなあと感じました。



懇親会に参加の皆様

理工学部 第4期 杉本秀彦 第27期 脇田 順

部の創立 一九六二年に工学部から理工学部が創られました。もともとなつた工学部の創立は一九四九年です。学科は土木工学、精密工学、電気工学、工業化学の四学科でした。これらの学科に数学、物理学、管理工学の三学科を加えた七学科で理工学部が発足しました。このとき、精密工学は精密機械工学に学科名が変更されました。その後、一九八九年に電気工学が電気電子工学に、工業化学が応用化学に名称変更されました。

学科の新設 理工学部になつてからの学科新設は一九九二年の情報工学です。その後、二〇〇八年に生命科学、二〇一三年に人間総合理工学が新たに設置されました。これにより、理工学部は十学科体制になります。この間に学科名の変更も行われました。一九九七年に管理工学が経営システム工学、二〇〇〇年に電気電子工学が電気電子情報通信工学、二〇〇九年に土木工学が都市環境学にそれぞれ変更されていき

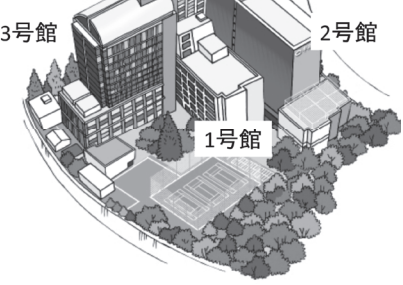
学科別入学定員数（2019年現在）				
数学	物理学	都市環境学	精密機械工学	電気電子情報通信学
70	70	90	145	135
応用化学	経営システム学	情報工学	生物科学	人間総合理工学
145	115	100	75	75

ます。表に現在の学科名と入学定員数を示します。

校舎の建設 工学部時代は、駿河台校舎、山の上校舎、水道橋校舎の三箇所です。その後、一九八九年に電気工学が電気電子工学に、工業化学が応用化学に名称変更されました。その後、一九八九年に土木工学が都市環境学にそれぞれ変更されていき

ます。表に現在の学科名と入学定員数を示します。

校舎の改築 神戸淡路大震災が一九九五年に起こると、校舎の耐震性が問題視されます。当時、三号館は老朽化が進んでおり、耐震性に心配がありました。加えて情報工学科の新設で教育研究スペースが不足していたことから、二〇〇三年



後楽園校地の建物（2019年現在）

飯田橋駅が動く？



新宿側に延長された飯田橋駅の新ホーム

飯田橋は外堀と鉄道の駅がその特徴を大きくだしている街である。

駅が「動く」とはちよつと衝撃な表現だが、中央線の飯田橋駅が西へ約200mほど移動するための工事が今たけなわである。左の写真をご覧ください。

飯田橋駅を語るには3つの駅の話が必要である。牛込橋の西側に広がっていた「牛込駅」、貨物専用駅であった「飯田町駅」そして今の「飯田橋駅」である。飯田町は東京から西へ延びる中央線（当初は甲武鉄道）の起点として明治28年に開業した。その途中駅として牛込駅があり、その後鉄道が神田方面に伸びる際に飯田橋駅を昭和3年に開設。その際牛込駅は廃止された。そして飯田町は貨物専用駅と



曲がったホーム この先に200メートル延長される

であるが、外堀沿いにできた新しいプラットフォーム、これが新しい飯田橋駅の一部である。

飯田橋駅を語るには3つの駅の話が必要である。牛込橋の西側に広がっていた「牛込駅」、貨物専用駅であった「飯田町駅」そして今の「飯田橋駅」である。飯田町は東京から西へ延びる中央線（当初は甲武鉄道）の起点として明治28年に開業した。その途中駅として牛込駅があり、その後鉄道が神田方面に伸びる際に飯田橋駅を昭和3年に開設。その際牛込駅は廃止された。そして飯田町は貨物専用駅と

これを解消し、安全な駅にするためほぼ電車1編成分の長さ（約200メートル）の

ホームを西へ伸ばし、直線化する。工事は昼間は電車が頻繁に行き交うので主に夜間に行われ、安全に最大の配慮をしながら行われている。完成すれば西口がきれいに整備され、もうすで見られないのだが飯田橋駅の見慣れた西口改札とホームをつなぐ長い連絡橋もなくなつた。ホームドアも取り付けられることだろう。

飯田橋駅の西側は大きく変わった。南側には教会や歯大オフィスビルなどが林立、その中で「牛込見附跡」がきれいに整備され憩いの場となっている。そして北側には「神楽坂」。昔と変わらぬ賑わいが付んでいる。

（清水 正）

第20回白門物理の集い

黒沢先生の卒寿祝いと共に

第39期 田中宏

都心で見慣れたオレンジ色のライン、JR中央線。しかし立川駅から青梅線に乗り入れ揺られていると段々と景色が変わり……一面の山と樹々が私たちを迎え入れる。東京都ながらイメージされる都会とは全く異なった景観と漂ってくる新緑の香り。そんなギャップを楽しみながら向かった先は『奥多摩 針の木山荘』。ロビーに着くと既にソファアード先輩の皆さまが談笑していらつしやいます。2019年6月1日、そんな非常に和やかな雰囲気の中で第20回の白門物理会が開催されました！

今年は卒寿になられた黒沢先生がご参加されるとのこと。黒沢先生は中大物理科の開設当初から物性物理学などのご教鞭を取られていた方です。私は第39期の学生なので先生からご指導頂いた事はなかったのですが、在学時に多々ご講義して頂いた現会長でいらつしやる杉本秀彦先生の教授なので、先生の先生という事になります。お名前自体は存じ上げておりましたが、史というものはなんと

酒もちゃんと飲むこと』でしようか。非常に心が洗われます。また先生に有志の皆さんからお祝いの花束も贈呈され、受け取った時の笑顔が素敵でした。そんな夕食会はそのまま宴会になり遅くまで大盛り上がりです。いったい日本酒何升空いたんでしょうか。

さて、もちろん遊ぶだけでなく、しっかりと現在の物理の最前線についても向学します。今回の講演は第41期の菅原さんから『最近の科学衛星の話題』と題して、国や研究機関としての今まで科学衛星に対する取り組みや、科学衛星を開発する最近のベンチャー企業の情報などを伺いました。1971年に日本初の科学衛星「しんせい」の打ち上げが成功してから50年。お話を聞いていて関わって

いる方々の様々な思考錯誤や、その大変さが垣間見えます。今や日本だけで9つの科学衛星が運用中で、宇宙の星々や宇宙の状態など未知の部分が探査されています。今後も宇宙の起源や性質、物理を探るべく非常に期待が持たれますね。

気付けば白門物理の集いはあつという間に時間が過ぎ……最後は有志を募って『奥多摩むかしみち散策』が行われました。約10kmに及ぶ散策コースを進むと、我が家の水源を司る小河内ダムが視界に入り壮観な眺めを楽しめます。一方で、通り道の吊り橋には2人以上乗るなどの警告文。最近問題のインフラ老朽化の波はこの辺りにもみられてきています。難しい話だな……と感じながらも無事に完走して散会となりました。



黒沢先生を囲んで

理工学部創立七十年記念行事

第4期 杉本秀彦

今年は理工学部創立七十年になります。この間に学科は増設され、校舎も増改築されました(写真参照)。そこで理工学部の発展を記念して創立七十年記念祝賀行事が九月二十八日に文京シビックホールで開催されました。

一部の記念イベントでは中央大学吹奏楽部による演奏があり、続いて記念討論会「中央大学理工学部の未来へ向けて」卒業生からのメッセージ」が開催されました。パネリストは二十代から五十代の卒業生六名、学生時代の経験やこれから理工学部に対する期待が語られました。その後、中央大学応援部が演武を披露

してイベントは閉会となりました。

二部の記念式典では、榎山理工学部長が式辞を述べ、中央大学理事長、学長、学員会会長が順次祝辞を述べました。外部組織からの祝辞は、文京区長と台湾の中央大学理工院長です。この後、理工学部の過去・現在・未来と題するビデオが上映され、学部四年生による在学生代表挨拶がありました。最後に中央大学理工合唱団と共に参加者全員が校歌を斉唱しました。

三部の記念祝賀会は会場を変えて、飯田橋駅近くのホテルメトロポリタンエド



1965年頃の後楽園キャンパス
(中央大学70周年記念事業ホームページより)

モントで開催されました。この会での祝辞には衆議院議員の平野氏と駐日ベナン共和国大使が立たれ、中央大学総長が乾杯の音頭をとりました。祝賀会は盛況で、会場は参加者で埋め尽くされていました。

こうして記念行事は予定通り無事終了し、創立百年への新たな歩みが始まりました。

青の絶景ウズベキスタンツアー

第5期 宮内良子

青空に映える青を主にした建物が多いウズベキスタンへ行ってみたいとかなり前から思っていたのですが、その思いが叶って3月下旬に出かけました。ウズベキスタンへは毎年3月から10月までは定期直行便が出ます。少し早めの春かなと思いつつ行きましたところ春爛漫の季節、夜は多少寒くなるものの日本と変わらない気温に快適です。1週間の旅行中「晴れ女」の私は雨に降られませんでした。



2人以上は乗れない吊り橋

まずは、ウズベキスタンの玄関口タシケントへ。9

時間30分の飛行機の旅、そして、乗り換えて西側のウルゲンチへ2時間30分飛び、その後バスで城塞都市ヒヴァへ。泊まったホテルは旧市街の入り口の一つ、西門前でした。夜景がとっても綺麗でした。翌日はバスでウズベキスタンの37%を占めるカラカルパクスタン自治共和国へ。古代ホルズム共和国の遺跡群観光。かつての王国の城壁の一部が残っていて今でも修復を

た。夕方、ヒヴァに戻りましたが曇っていて夕日鑑賞はできませんでした。翌朝朝日鑑賞をした後ヒヴァ(イチャンカラ)観光、ヒヴァ王朝の夏の宮殿で夕食後1時間30分の国内線でチンギスハンの伝説が残る古都ブハラへ。どこに行ってもレンガに青基調の装飾。これには3通りあり、モザイク、タイル、絵です。この青の原料はよくわかっていないそうです。モスク、メ

ドレス(神学校)等、目を楽しませてくれる素晴らしい建物がたくさんありました。その一つで一組の新婚さんに出会いました。ウズベキスタンの人々は親日で日本人観光客に親しく話しかけてきたりします。ですから一緒に写真を撮ることにも拒否しません。それどころか喜んでくれたのにはびっくりです。ちなみに、ウズベキスタン旅行中にこの一組を含めて三組の新婚さんに出会いました。季節がいいのでしょうか。夕方は旅行お決まりの民族舞踊ディナーショーでした。国々の特色がありますね。ちよつとロシア風かな？

翌日はブハラからバスでシャフリサーブスへ。ここは世界の支配者ティムールゆかりの地です。その歴史地区をたつぷり観光。ここでも青のモスクでした。そして民家での昼食。少しでも一般民家をとのようでしたが、この民家は生活レベルは高い方ではないのかなとつぶやきました。

再びバスでそれこそ青の都サマルカンドへ。ここでの夜景もとてもきれいでした。翌日はシルクロードの真珠と言われるサマルカンドの観光。有名な青の建物のレギスタン広場やモスク、廟、メドレセをたつぷり観て、それに市場に寄ったりとすっかり満足的一天。ただ残念なことにウルグベク天文台跡には立ち寄れませんでした。現在は円



ナヴォイ・オペラ・バレイ劇場

にも乗りました。地下鉄の駅ではロシア風の素敵な装飾にびっくりでした。そして市内のナヴォイ・オペラ・バレイ劇場は、第二次世界戦争後タシケントに抑留されていた旧日本兵などの捕虜に強制労働で作らせた建物の一つで、地震の時に倒壊せずに建っている、強制労働にもかわからず見事な建物を作り上げたと言語継がれています。これこそがウズベキスタンの人々の親日の理由の一つでしょう。そして、日本人墓地、日本庭園とめぐり春の花をいっぱい愛で(桜は少し遅く散っていました)が、タシケントを一日たっぷり観光して、夜、帰国の途につきました。



平成30年度中央大学理工学部卒業式と大学院理工学研究科修士課程学位授与式が平成31年3月24日(日)に後樂園キャンパスで開催されました。数日前に東京でも桜の開花宣言が出されて、理工学部の5号館横の桜も2分咲き程度にほころび、穏やかな卒業式日和となりました。

学部全体での式典後、各科に分かれて卒業証書・学位記授与式が行われ、物理学科では49名の学部卒業者と9名の修士課程修了者に教室主任の中村真教授から卒業証書と学位記がそれぞれ手渡されました。続いて中村先生からお祝いのお話があり、その後白門物理会の杉本会長と照井副会長からお祝いと白門物理会紹介がありました。

中村先生からは、卒業者修了者をはじめ、保護者や関係される方々にお祝いのお言葉があったあと、この新たな門出に際し特に皆さんにお伝えしたいこととして、韓国で研究生活をしていた時のエピソードをま

平成最後の卒業式が行われました

第7期 中村 裕介

じえて、次のようにお話しがありました。

常々思うんですが何か真実って相反することを二つ並べると真実になる様な気がします。例えば物理学ってどうなのと聞かれた時、物理学簡単だよ、でも難しい、と言うと何となく真実に近づいた感じがするんですね。

皆さんがこれから広い世界に出ていくことを考えると、一つのキーワードとしてグローバル化があります。試しにネットでグローバル化の時代に求められる人材とかを検索してみると、たいていは英語を身に

着ける事が重要とか出て来ます。これ自体正しいので、何の反論も無いですが、同時に反対側からの言葉の一つ添えるるとまた真実に近づく様な気がするの

で、ネットに載っていないその反対側の事をお伝えしたいと思います。

人間にとって大切な事とは、他人に対して誠実であるとか、優しくできるとか、あるいは他人の親切に

感謝できるといったことで、それは国籍とか言語には関係ないのです。だからある意味、英語を喋らなくてもいいんです。

グローバル化とは海外に出て行くという事だけでは無く、日本国内で就職される方も今までの大学生活とは文化や習慣の違う環境の中に身を置く訳で、そこで違った常識を身に着け、新

しい仕事を覚えて行く必要があります。同時に自分の内側に既に有る誠実さとか、真面目さとか、優しさとか、感謝や尊敬の気持ちというのが最終的には大事で、これが万国共通の世界最強の共通言語なんです。私がお伝えしたいのは、世界のどこに行こうとも、あるいはどんな業種に進もうとも怖い物は無いと言うことですね。だって皆さんの中には幼いころから培ってきた誠実さ真面目さ感謝の気持ち尊敬する気持ちなど、すなわち万国共通で世界最強の共通言語が有るんです。そのことを忘れずにいて頂きたいというのが一番伝えたい事なのです。

最後に「皆さんのこれらの人生が益々充実した豊かなものになりますよう祈念します。」とお言葉で締め括られました。

引き続き、2年前まで教壇に立たれていた白門物理会の杉本会長が挨拶に立つと、卒業生達からは懐かしさと会長であることへの驚きからかどよめき

が起きました。会長からは、お祝いの言葉とともに次のようなお話しがありました。

皆さんがある組織に入っ

たとして、その組織の中の常識は必ずしも世間の常識と一致しているとは限らない。批判的なものごとを見て自分の頭で考え



証書を授与する中村先生

いう努力を是非行

き、これからの活躍を大いに期待するものです。ここからは同窓会の宣伝にもな

りますが、広い視野を持つためには時間を超え、場所を超えて色んな人と接触を持つ事です。それが同窓会の役割です。学員会という組織は大学全体の同窓会

ですが、それは別に白門物理会という物理学学科独自の同窓会があります。物理と

言う学問を勉強した人たちが年齢を超えて情報交換をし、お互いに物事を考える、

そう言う組織です。是非これに加わって広い視野を獲得して頂きたいと言うのが私のお願いです。

会費納入について (お願い)

「白門物理会」は20年を超えて活動を続けています。これも、ひとえに会員皆様のご協力の賜と厚くお礼申し上げます。これからも「白門物理会」が継続、発展するためには皆様から納入して頂く会費に頼らざるを得ません。以下のいずれかの方法で、会費納入をよろしくお願いします。

①直接納入

「総会」「白門物理の集い」等

②郵便局からの振込み

払込取扱票(手数料は白門物理会

③銀行からの振込み

三菱UFJ銀行 久米川支店(店番231) 口座番号:0691988(普通預金) 名 前:白門物理会

なお、会費については「規約」に次のように規定されています。

第6章 (会計)

第14条

- ①年会費は3千円とする。
- ②3万円を一括納入することにより「終身会員」とする。「終身会員」は年会費は免除する。
- ③長期にわたり年会費を納入した者、その他これに準ずる者は、幹事会の承諾を得て「終身会員」とする。

編 集 後 記

皆様に興味を持ってお読みいただけるようにと知恵を出し合い、今年も会報づくりをお届けしますのでお読み頂ければと思います。

8月に富士山のバスツアーに参加してきました。富士山は今までに1~5合目、5合目~頂上、頂上のお鉢巡り、山麓一周(1年かけて毎月1回)と歩いてきましたが、今回は5合目の散策です。かつては5合目あたりを一周する「お中道」と言われた道があったそうですが、今は大沢崩れなどもあって富士スバルラインの5合目付近だけが遊歩道として整備されています。ほぼ平坦な火山礫の歩道ですが、奥庭付近には急な坂もありました。歩いている人には年配の女性もかなりおられ、その元気さに圧倒されていました

が、ふと見ると見覚えのある顔が……。人違いかもしれないが、と恐る恐る声をかけると、アーラおじさん、との返事。こんなこともあるものだ

【編集委員】

委員長 8期 齊藤 守夫 委員

1期 篠田 彬 4期 杉本 秀彦 4期 佐々木文三 5期 宮内 良子 7期 鈴木 立夫 7期 中村 裕介 8期 倉繁 正和 13期 飯島 章男 18期 吉川 秀雄 27期 脇田 順一 40期 照井雄一朗 41期 菅原 泰晴 編集顧問 清水 正(法学部卒)

会 計 報 告

2018 (平成30) 年度会計報告

期間:平成30年10月1日~令和元年9月30日

		(予算)	(決算)
収入の部	終身会員会費 (3名)	1,936,658	2,096,736
	通常会員会費 (14名)	0	90,000
雑収入	寄付、利息等	30000	42,000
繰越金		0	58,078
支出の部		1,906,658	1,906,658
	総会費	325,000	239,527
機関誌代	謝礼等	60,000	50,000
通信費	印刷費	100,000	97,200
企画補助	案内状送料等	100,000	74,528
備品費	H P、講師謝礼等	50,000	13,395
消耗品費	ゴム印等	5,000	0
事務経費	事務用品等	5,000	1,070
残高の部	M B S 手数料他	5,000	3,334
		1,611,658	1,857,209

会 費: (終身会員) 田中宏(39期)、影山昌秀(15期)、鈴木善博(17期) (通常会員) 萩原和弘(17期)、小林昭二(13期)、渡辺健次(先生) 井原太一(15期)、松原利明(7期)、年綱寛史(6期)、磯目基嗣(11期) 榎本雅人(20期)、永見昭(1期)、阿部寛(19期)、若林学(1期) 安田明彦(3期)、本村克美(11期)、須賀博志(14期)

雑 収 入: 幹事会・懇親会等からの寄付、利子、利息及び個人寄付 中野徹、渡辺健次、松本精夫、長利哲司、年綱寛史、永見昭 (以上:敬称略)

総 会 費: 謝礼 国立天文台 相馬充先生(キトラ古墳天文図) 機関紙代: 500部 音羽印刷

通 信 費: 総会案内、機関紙送付、白門物理の集い案内 企画補助: 物理の集い講師謝礼、H P、取材費 備 品 費、消 耗 品 費: プリンター・インク代 事務経費: 振込手数料など

会計 佐々木文三 (第4期) 印

平成30年度会計監査報告

- ①監査執行日 令和元年10月 日
- ②監査項目及びその状況 帳簿、証ひょう類、現金、預貯金とも正確である。
- ③その他事項はありません。

会計監事 倉繁正和 (第8期) 印 会計監事 菅原泰晴 (第41期) 印

2019 (令和元) 年度予算案

期間:令和元年10月1日~令和2年9月30日

		(予算)
収入の部		1,887,209
	終身会員会費	0
会費	通常会員会費	30,000
雑収入	寄付、利息等	0
繰越金		1,857,209
支出の部		325,000
	総会費	60,000
機関誌代	印刷費等	100,000
通信費	案内状送料等	100,000
企画補助	H P、講師謝礼等	50,000
備品費	ゴム印等	5,000
消耗品費	事務用品等	5,000
事務経費	振込手数料等	5,000
残高の部		1,562,209

会計 佐々木文三 (第4期) 印